

弊社社員がPMOとして参画し、PMや他のメンバーの方に直接指導。プロジェクトの成功に寄与するだけでなく、人材も育成します。

＜このようなお悩みを持った方にお勧めです＞

- PM・PMO人材が不足しているため、自社社員の育成を行う必要がある
- 管理プロセスの導入定着が上手く進んでおらず、プロセスの定着化と教育を同時に行う必要がある
- プロジェクトマネジメントの成熟度を高めるためにPMの育成が必要だが、自社では教育できない

座学ではなく、実際のプロジェクトの中で人材を育成したい

弊社は、PMO実行支援サービスをご提供すると共に、プロジェクトマネジメント人材の育成も行います。

プロジェクト管理プロセスを導入したものの、実際の現場でうまく活用できないケースが多くあります。

そのため、PMOのリーディング・カンパニーである弊社社員がプロジェクトへPMOとして参画し、プロジェクト活動の中で、PMや他メンバーの方に直接指導(OJT)を行うことで、貴社のプロジェクトの成功に寄与するだけでなく、人材も育成します。

□ OJT事例

【背景】

- 某公共系企業では、PM・PMO人材が不足しており、今後増大するプロジェクトの数や規模に対応すべく、プロジェクトマネジメント・プロセスの定着とともに育成を行う必要性があった
- システム開発標準やプロジェクトマネジメント・プロセスのテンプレート等は存在していたが、現場への導入定着が不足しており、根付かせつつも教育を行う必要性があった

【期間】

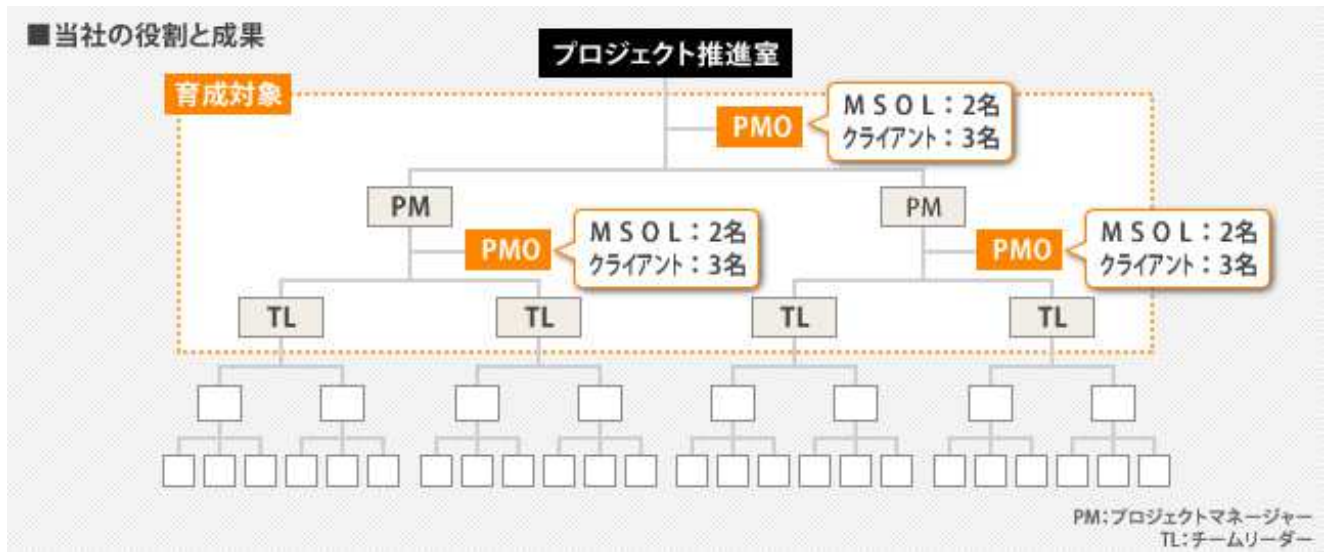
2年間(プロジェクトの設計フェーズ～サービス・インまで)

【OJT対象】

入社8年目のサブ・リーダー経験者

【弊社の役割】

- プログラムマネジメント力強化のためのプロジェクト推進部の役割の見直しから全社プロセス策定及び導入定着
- プロジェクト管理プロセスの見直し及び定着支援
- 各プロジェクトへPMOとして参画し、PMやTLを含めて直接指導
- 弊社PMOリーダーの下で下記トレーニングを実施
 - 進捗管理
 - 課題管理
 - 障害管理
 - 変更管理
- 次フェーズの計画立案等を弊社のプロジェクトマネジメント方法論や現場でのコミュニケーション方法を通じてOJTで教育



【効果】

- 個別プロジェクトのみならず、全社的なプロジェクトマネジメントの強化につながった
- 次にプロジェクトにてPMOリーダーとして活躍、次期プロジェクトのPM候補として活躍している
- これまで属人的に行ってきたプロジェクトマネジメントの手法が統一された
- 全社的にプロジェクトマネジメントに対する理解が浸透した